

# 異色の二人でカウンセリング

「お笑いコンビじゃありません！編」

結城市 クラージュニコころカウンセリングルーム（倉持良信・杉山裕子）

**登場！ オチャラケ倉持とツツコミ杉山**

**杉山** 皆さん、こんにちは。クラージュニコころカウンセリングルームの杉山です。

**倉持** うん、ふん、ふん（うなずく）。う〜ん、ふ〜ん（うなずく）。

**杉山** ちょっと、倉持さん。何やっているのですか？ 皆さんにご挨拶は…？

**倉持** いや〜、東関東支部報「東風」で我々のことを掲載してくれるって聞いたもんですから、まず一発目に産業カウンセラー養成講座で鍛えられた自慢の『傾聴』スキルを見せつけてやろうと思つてね。

**杉山** いきなりうなずかれても、読者の皆さんには何も伝わらないじゃないですか。しかも誰もあなたの『傾聴』スキルなんか興味ありません。ちゃんとご挨拶してください！

**倉持** あれ、そうだったの？ それでは改めて…（唾）つ〜くん。「生きてます〜」

**杉山** もー、ええ加減にせえ！ 誰が安否確認を知らせー言った！ そんな行政書士資格を有するオチャラケな倉持と、看護師として病院勤務経験がある私という、丸つきりバックボーンの違う異色コンビでカウンセリングルームを

共同経営し、9年間で4,000人を超えるクライアントに対してカウンセリングを行ってまいりました。

**カウンセラー2人体制（協働形態）**

**倉持** カウンセリングルームを経営している産業カウンセラーって少ないんだろうけど、そんな中で、我々の最大の特徴は、コ・カウンセリングとって、男女2人のカウンセラーが同時にクライエント（個人や家族）に関わっていく協働形態をとっているという点だろうね。

**杉山** 1人のカウンセラーが個人や家族に対してセッションを行っていくところが多いですね。これについては、色々な方から「変わったスタイルですね」と驚かれたり、クライエント1人に対してカウンセラー2人が同時に関わったら、圧迫感があるんじゃない？」「クライエントがどちらに向かって話しているのか分からなくなるのでは？」など、懸念する方もおられます。

**倉持** でも、そういった男女2人の協働形態は、家族療法家の間ではそれほど珍しいことではないらしく、ブリーフセラピーで有名な若島孔文先生のセッションを拝見させていただいたとき



は、女性のカウンセラーと組んでおられましたし、アサーションを広めた平木典子先生の研修を受講した際にも、ご自身が顧問をされている研究所では、男女2人が組んでカウンセリングやっている旨お話されていましたね。

**やってよかった、コンビ式**

**杉山** そのような、男女でコンビを組んで共にクライエントに関わることを続けてきて、特によかつたなと思う点を挙げてみますと。

**倉持** ま、たくさんあるのですが、特にといえ『相互チェック機能』ですかね。カウンセラー